

呉市文化ホール開館30周年記念

# フライブルグ大聖堂 少年合唱団

2018 ジャパンツアー

8年ぶりのジャパンツアー開催。  
伝統あるドイツのハーモニーをご堪能ください。



指揮 ボリス・ペーマン



特別出演: 呉少年合唱団

出演  
指揮者: ボリス・ペーマン  
合唱: フライブルグ大聖堂少年合唱団  
特別出演: 呉少年合唱団

プログラム  
フェリックス・メンデルスゾーン (1809-1847)  
彼が天使たちに命じたのだから

ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685-1750)  
モテット "主に向かって新しき歌を歌え" BWV225

ライムンド・ヘス (1935-)  
美しきドイツのメドレー  
"ところ変われば、娘も変わる" (ドイツ民謡メドレー)

日本の歌 ふるさと さくら ほか  
※曲目に変更がある場合がございます、あらかじめご了承くださいませ。

■ 2018年 8月31日(金) ■ 呉市文化ホール  
18:30開演 (18:00開場) 呉市中央3丁目10番1号

チケット(税込) ※1階は全席指定、2階は全席自由

一般 指定席/一般: 2,500円、学生: 1,500円 自由席/一般: 1,500円、学生: 1,000円

くれフレンドリー 指定席/一般: 2,250円、学生: 1,350円 自由席/一般: 1,350円、学生: 900円

※未就学児入場不可。館内に託児室を準備いたします。※学生は高校生以下

チケット販売場所

呉市: 呉市文化ホール、イオン広島、中国新聞呉支社

広島市: エディオン広島本店(サンモール1階)、福屋広島駅前店、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)

その他: ローソンチケット ☎0570-084-006 (Lコード: 62352) チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード: 117-291) セブンチケット <http://7ticket.jp/>

主催/公益財団法人呉市文化振興財団、呉市、中国新聞社

発売日

一般 5月26日(土)

くれフレンドリー 5月19日(土)

館内託児室のご案内  
お子様連れでも

ご安心ください。

有料・事前予約制

ご利用料金税込100円(お一人様につき)  
ご予約いたします。定員20名様。  
お問合せ・お申込みは下記  
株式会社 くれせんずまいるキッズへ  
8月24日(金)までにお申し込みください。  
☎0823-22-2498  
受付時間: 平日9:00~17:30



公益財団法人

呉市文化振興財団

呉市中央3丁目10番1号 呉市文化ホール内  
<http://kure-bunka.jp/>

お問合せ

呉市文化ホール: 電話0823-25-7878  
受付時間8:30~20:00、休館日は17:00まで

8年ぶり4回目の日本公演として、フライブルグ大聖堂少年合唱団を、呉市に招聘して頂くことになりました。フライブルグ大聖堂少年合唱団にとって、演奏旅行及び海外招聘演奏旅行は、合唱団が1970年に再結成されて以来、恒例の演奏活動となっています。大聖堂少年合唱団は国内外での48年に渡る演奏活動を行い、国外でも非常に高い関心を得ています。その理由としては、ドイツの音楽家バッハ、ベートーベン、メンデルスゾーン、ブラームス等の作曲家が非常にポピュラーであることとヨーロッパの合唱の伝統に高い価値がおかれていること等が上げられます。

フライブルグ大聖堂少年合唱団は、この様に文化大使として、またフライブルグ及びドイツの派遣代表団として演奏旅行を行います。この二つ目の課題は、各地でのリハーサルや観光と並行してドイツ大使・領事及び政治関係者への訪問や各地で行われる演奏会等という内容で、旅行行程に多く反映され、大聖堂少年合唱団にとっての演奏旅行は、こういう形で国際間の協調や多種多様な文化に貢献しています。

今回の4回目にあたる日本公演は、これまでに築いてきた日本の音楽関係者及び団体、友人達との友好関係をより深めていきたいことはもとより、近年ドイツにおける伝統的合唱編成\*の先駆者として、大きな成果を上げています。ボーイアルトとは違ったハーモニーを醸し出す、合唱の響きをおたのしみください。

フライブルグ大聖堂付属音楽学校 専属講師/オペラ歌手  
呉大使 西岡 智子

\*英国及び地中海沿岸圏に始まった合唱編成で、アルト声域を成人男性によって歌唱するカウンターテナーで編成

呉市文化ホール開館30周年記念

## フライブルグ大聖堂 少年合唱団

2018 ジャパンツアー



### フライブルグ大聖堂少年合唱団

ドイツにおける名門少年合唱団の一つに数えられるフライブルグ大聖堂少年合唱団の伝統は、少年と男性の聖域で、構成されるフライブルグ大聖堂のアンサンブルとして、8世紀以上にまで遡ることができ、20世紀までは、平日の早朝及び夕べのごミサ、また日曜と祝日のごミサにて歌唱。国家社会主義時代に、解散を余儀なくされた大聖堂少年合唱団は、1970年に元大聖堂音楽監督である高位聖職者ライムント・フーク博士によって再結成。フライブルグ大聖堂での典礼音楽担当という主課題以外に、宗教音楽及び世俗音楽の両方面にて、演奏活動をするほか、ローリン・マゼール、インゴ・メッツマッハー、クサヴィエール・ロート、ペーター・エトヴォス等といった世界に著名な指揮者との共演も多数。アカペラ及びおラトリア作品における数多くのCD録音に加えて、ラジオ、テレビなどへの出演も多い。フライブルグ大聖堂少年合唱団は、これらの音楽活動に対して、多数の表彰及び音楽賞を受賞。2003年より、現在のボリス・ベーマン名誉教授が、大聖堂音楽監督。フライブルグ大聖堂少年合唱団は、ドイツ国内はもとより、ヨーロッパ各地をはじめとして、カナダ、南アメリカ、オーストラリア等でも、国外演奏ツアーを行い、日本にも1995年以来今回を含めて4回のツアーを果実しています。



### 指揮 ボリス・ベーマン

1964年ヴォルムス・アム・ラインに生まれる。マインツ総合大学にてカトリック神学を勉学後、ゲトモルト音楽大学にて、教会音楽を研鑽。教会音楽家国家試験最高過程

(A)に合格後、ケペラ市のローマ法王指定聖マリア教会に合唱ディレクターとして就任。2003年より、フライブルグ大聖堂音楽監督兼フライブルグ大聖堂付属音楽学校校長。2006年以来フライブルグ音楽学校及び、フライブルグ総合大学にて教鞭をとる。2018年以来フライブルグ総合大学名誉教授。



### 呉少年合唱団

呉少年合唱団は昭和36年に結成され、今年創立57年目を迎えます。ボーイソプラノの美しい歌声とハーモニーをめざし、全国でも数少ない少年だけの合唱団として、活動を続けています。毎年秋に定期演奏会を開催する他、呉市内の各種イベントに参加。広島県少年少女合唱連盟定期演奏会、全日本少年少女合唱祭全国大会にも毎年出演しています。また、創立50周年を機に、まさに歌の輪を広げる取組として「呉子どもカンタービレ」を開催したり、定期演奏会に公募参加によるステージを設けたりしています。